

Peppolが輝かせる「主役」たち ~Voice from users, QMS TRACE x Peppol e-invoice ~

2026年3月6日、デジタル庁は、Triplo M's S.A.（菅原淳矢CEO、スイス）が主催する、Peppolユーザーによる交流イベント（「Peppoland Q Tokyo」）に参加しました。同イベントは、デジタル庁の「Peppol e-invoiceによる付加価値創造事業（フェーズ2）」（受託事業者：Triplo M's S.A.）の一環として開催されたもので、実証に取り組んだ10社以上の事業者が出席しました。

中央フードサービス

デジタルインボイスでの「つながり」を通じて取引先との関係も強化。“Beyond PoC”を見据えた次なる飛躍を目指します！

木村屋

デジタルインボイスは業務効率化をもたらす便利なツール。故に、誰でも使える（「俺でもできる」）よう、常にシンプルであるべきと強く訴えたい。

ゆいまーる沖縄

デジタルツールは常に「脇役」。一方で、伝統工芸品に込められた思いを伝えるには必要なもの。デジタルツールを利用する目的を見失うことなく、引き続き、うまく活用していきたい。

久月総本舗

例えば「振込口座」の情報ひとつをとっても、アナログな作業とデジタルインボイスではその取扱が異なり、戸惑いもあった。ただ、その戸惑いは「慣れ」が解消してくれた。

平塚市

デジタルインボイスが便利なツールだということは実感できた。故に、次は、この便利なツールを平塚の事業者の方に使ってもらえるよう、行政として期待される役割を意識して取り組みたい。

イベント参加の皆様

一貫堂

プラットフォームとして、単にバイヤーとサプライヤーをつなぐだけでなく、仕入明細書をうまく活用し、それら両者と自分たちとの間も、デジタルインボイスでつないでいきたい。

アルテミンジャパン

DXの文脈ですべての「紙」を無くして良いわけではない。ただ、「紙の請求書」は業務効率化の観点からも見直しができるもの。Peppolを意識しすぎることなく、実務の現場の今ある「流れ」を尊重し、基幹システムとの連携等を考えていきたい。

AQライフ

デジタルインボイスのベネフィットは事業者だけのものではない。事業者の先にいる顧客や消費者にまでその恩恵が届くよう、業界全体を巻き込んだ取組も行っていきたい。

